

第二回 國會 圖書館運營委員會會議錄 第三号

昭和二十三年二月三日(月曜日)

午後四時十九分開議

出席委員

委員長 中村 嘉壽君
山口 靜江君 井上 知治君
松田 正一君 圓谷 光衛君
豊澤 豊雄君

本日の會議に付した事件

國立國會圖書館法案起草に関する件
國立國會圖書館建築委員會法案起草
に関する件

○中村委員長 これより會議を開きます。

國立國會圖書館法案起草の件及び國立國會圖書館建築委員會法案起草の件を一括議題といたします。

本委員會は、かつてなき雄大な構想のもとに國立國會圖書館を創設すべく、アメリカの圖書館使節を迎えて、旧蹟以來しばしば打合會を開いて慎重審議を続け、昨日のごとき起草案に到達したのでございますが、本日の議院運營委員會との連合審査の結果、多少字句の修正がございました。それは「パンフレット」を「小冊子」に、「調査及び立法リファレンス局」を「調査及び立法参考局」に、「サービス」を「奉仕」に、「カタログ」を「目録」に、「リスト」を「一覧表」に、「カタログ、カード」を「目録票」に、それら改めました。それで字句を改めましてお手もとに配付のものを、本委員會の成案として正式に決定をいたしたいと存じますが、その前に何か御意見はございませんか。

特に御意見もないようでございますから、本案を委員會の成案として決定するに御異議ございませんか。

〔異議なしと呼ぶ者あり〕

○中村委員長 御異議がなければ、さよう決定いたします。

なおただいま御決定をいただきました成案は、これを委員會提出法律案として取扱いに御異議ございませんか。

〔異議なしと呼ぶ者あり〕

○中村委員長 御異議なければ、さよう決定して、委員長より提出の手續をとることにいたします。

今日この成案を得て提出の運びに至りましたことは、委員一同の深い喜びとするところでございます。この喜びのうちに送り出されます本法案がやがて成立の驕、日本の民主化のために、また偉れた文化創造のために大いに貢獻するであろうことをわれわれは疑わないのであります。これ、ひとえに委員各位の御熱心と連日の御努力の賜でございます。委員長としてその御辛勞に對しまして、厚く御礼申し上げる次第でございます。

本日はこれにて散會いたします。まことにありがとうございました。

午後四時二十一分散會

昭和二十三年三月十日印刷

昭和二十三年三月十日発行

衆議院事務局

印刷者 印刷局